水産情報速報版

H18. 8. 4　№1203

静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011　Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁政課
URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

１．本会第4回理事会開催　第1・四半期の事業状況等を報告

本会では、去る7月27日第4回理事会を開催し、平成18年度第1・四半期の事業状況と収支内容を報告、また本会運営体制のあり方の検討と役員定数の地区割及び地区運営委員会組織の見直しについては継続審議とし、その他議案の承認を得ました。

当期の事業内容は、経済事業では引き続く石油価格の高騰により厳しい事業展開を強いられましたが、主幹となる石油購買がほぼ前年並みの取扱量を何とか達成することができ、また資材購買もシラスウナギの豊漁やアジ種苗の確保が順調なことにより、配合餌料が前年を上回る取扱いとなりました。一方、買取販売においては、概ね昨年並みの取扱いとなり、特に浜名湖産アサリの集出荷事業は、漁連ブランドの定着等により販売先との信頼関係が築かれた事業展開ができ、収支の改善が図られました。

その結果、経済事業総取扱高は、2,310百万円（計画比28%、前年比104%、以下同じ）と前年を若干上回りましたが、利益率の低下により事業総利益は96百万円（24%、95%）と若干下回ることとなり、これを人件費等管理費の削減により補い事業利益は計画・前年比共に上回る実績を挙げることができました。しかし、事業外収支において土地等の不動産賃料や出資配当金の減少に加え、指導事業財源の教育情報資金を当年度負担の方法に変更したことで、当期の経常利益は前年を大きく下回る10百万円余となりました。

また、指導事業では、重点推進事項である漁協基盤強化方針に基づく要改善漁協を中心に積極的な指導を展開したほか、キンメダイの資源管理やトラフグの資源回復計画への参画、密漁防止対策協議会や漁協経理事務研修会の開催についての報告、さらに温水利用委託事業では、マダイやヒラメ等種苗生産の状況が、概ね順調に実施されている旨の報告がなされ承認を得ました。

次に、本会運営体制のあり方の検討と役員定数の地区割及び地区運営委員会組織の見直しについては、これまでの役員選出母体となる地区運営委員会組織のあり方と各地区から選出される役員定数の割当ての是正が前回の役員改選以降に問題提起されており、その対応は来年度改選期に向けて結論を出すとしてきたことを踏まえ、一方では県下信用事業統合体の経営基盤に係る危機的な課題対応が差し迫っている中で、これまでの両連合会の役員の選出、地区運営委員会組織の存在経過について理解を頂くため関係資料を提出したことを説明、役員各位の意見を伺った後対応案を示すこととし継続審議となりました。その他議案の理事と連合会との契約については承認を得るとともに、報告事項としてこれまで主として県防災船「希望」に対する軽油積込業務を行ってきた油槽船第18漁連丸の解撤処分について報告し終了しました。

２．平成18年度天草共販第3回入札会開催される

本会では7月26日、賀茂出張所において天草事業の第3回入札会を開催しました。第3回までの取扱累計は数量54,829kg(2,200本)(前年比7,384kg増)、取扱金額91,159千円(同

170千円減)、平均単価16,626円(10kgあたり)(同2,622円減)となりました。

今回の入札結果は次のとおりです。▽入札数量：23,844kg(960本)　▽取扱金額：37,137千円　▽平均単価：15,574円(10kg当たり)　▽最高入札額：22,580円(10kg当たり)＜生産地＝大川･白田･稲取　銘柄＝まくさ(粗)＞

３．水生生物の観察、水質調査を瀬戸川(藤枝市)にて実施

本会では、JAグループ、生協連、県森連と県協同組合間提携推進協議会を組織し、各般の提携事業を行っています。当協議会事業の一環として、7月29日藤枝市瀬戸ノ谷(びく石ふれあい広場)において、団体所属員の子弟(幼稚園児～小学6年生)及び保護者19名が参加して、環境保全及び自然保護の重要性を子供たちに理解してもらうため、県水産試験場花井主任研究員の指導の下、水生生物による水質調査を実施しました。

当日は、参加者全員が注意事項の説明を受けた後、用意したタモを持ち川に入り、川岸の草むらや川底の石を起しながら、水生生物の採集に興味深く取り組みました。

約1時間半で採集した生物を持ち寄り、担当講師より採集したヘビトンボ、サワガニ、ヨシノボリ、カジカカエルなどの生物の名称や生息環境について説明が行なわれたほか、この採集と観察活動を通じて、自然環境の保護の大切さを参加者に働きかけました。

４．海上保安庁の海洋速報が変わりました

海上保安庁では、迅速な提供と情報の一層の充実を目指し、8月1日から、海流・水温情報を盛り込んだ「海洋速報」を平日毎日提供しています。この海洋速報は、海難の救助、海上火災・海洋環境の保全、海上交通の安全確保等を目的として、従来毎週水曜日に提供されていたものですが、最近の船舶運航者や漁業関係者などの一般ユーザーのリアルタイム情報への関心度が高まってきたことを受け毎日発行としたものです。

また、海流図に経緯度30分メッシュの海流データを図示するなど、新たな情報も加えて内容の充実を図っています。また、ホームページ上から黒潮流軸位置(黒潮で一番流れの早い場所)の数値データ(例：石廊崎沖の何マイルにあるか)をダウンロードできるようになりました。

HPアドレス　http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/index.html

５．新刊図書紹介　江戸の俳諧に見る食文化　磯 直道　著

成山堂書店ではこのほど、「江戸の俳諧に見る食文化」(㈳日本水産学会 監修)を発刊しました。

本書は、後世に名を残した芭蕉や一茶、蕪村などが、江戸時代半ばから幕末までの俳諧に現れた魚介類を詠んだ句を通じて、庶民の食生活で主役を演じた魚介類の姿を明らかにし、当時の魚食文化を探ろうというもので、マダイ、イセエビなど春の魚介17種、カツオ、ウナギなど夏の魚介8種、サンマ、タチウオなどの秋の魚介8種、フグ、カキなどの冬の魚介17種を取り上げ、それぞれの句と解説を交えながら、当時の様子を紹介しています。

▽定価：1,680円(税込)　四六版192頁　▽問合せ先：成山堂書店　TEL:03-3357-5861